株式会社ニチレイ 〒104-8402 東京都中央区築地六丁目19番20号 ニチレイ東銀座ビル
☎(03)3248−2113(財務IR部 株式担当)

配当金のお支払いについてのご案内

第100期中間配当金は、次のいずれかの方法により、2017年12月5日(火)からお支払い申し上げます。

■口座振込にてお受け取りの株主様

「配当金計算書」および「お振込先について」を同封していますので、ご確認ください。

■株式数比例配分方式をご指定の株主様

「配当金計算書」および「配当金のお受け取り方法について」を同封しています。また、源泉徴収税額計算は証券会社等にて行われますので、確定申告の添付書類は、お取引の証券会社等へご確認ください。

■配当金領収証によりお受け取りの株主様

同封の「第100期中間配当金領収証」記載のお支払い方法をご高覧の上、最寄りのゆうちょ銀行本支店・出張所および郵便局(銀行代理業者)にて、払渡しの期間内(2017年12月5日(火)〜2018年1月31日(水))にお受け取りください。なお、同封の「配当金計算書」は、配当金をお受け取り後の配当金額のご確認や確定申告の添付資料としてご使用いただけます。

■次回より口座振込をご希望の場合

証券会社等に口座をお持ちの株主様はお取引の証券会社等にて、特別口座の株主様はみずほ信託銀行にて、それぞれお手続きください。

株式事務に関するご案内

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券口座に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
郵送物送付先	お取引の証券会社等	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120−288−324 受付時間:9:00〜17:00(土・日・祝日を除く)
各種手続お取扱い(住所変更、配当金受け取り方法の変更、単元未満株式の買取・買増等)		●みずほ証券 本店および全国各支店 (プラネットブースでもお取り扱いいたします) ●みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできませんので、ご了承ください。
未払配当金のお支払い	みずほ信託銀行およびみずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券では、取次のみとなります)	
支払明細の発行	みずほ信託銀行 証券代行部(フリーダイヤル 0120−288−324)にご相談ください。	

単元未満株式をお持ちの株主様へのご案内

■単元未満株式は市場で売買できません。買取・買増については、お取引の証券会社等にご相談ください。

■特別口座にある株式の買取・買増については、みずほ信託銀行にご相談ください。
(特別口座では単元株の売買ができないため、売買をご希望の方は、証券会社に口座を開設し株式を振り替えていただく必要があります)

UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
VEGETABLE OIL INK
FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080 www.fsc.org
PRO-WE PROJECT-With the Earth この冊子の印刷・製本に係るCO₂はPROJECT-With the Earth を通じてオフセット(相殺)しています。

HOPE ほっぺ

Vol.39

第100期中間 グループ報告書
2017年4月1日 〜2017年9月30日

©Akihiro Nakamura

株式会社ニチレイ　証券コード:2871

セグメント別
売上高構成比
（2017年9月30日現在）

2017年度第2四半期 セグメント別概況
▶5～7ページ

おいしい瞬間を届けたい

ミッション【使命・存在意義】

くらしを見つめ、人々に心の満足を提供する

ビジョン【目指す姿】

ニチレイグループは、卓越した食品と物流のネットワークを備える「食のフロンティアカンパニー」として、お客様にご満足いただける優れた品質と価値ある商品・サービスを創造・提供し、広く好感と信頼を寄せられる企業として、社会とともに成長します。

ブランドステートメント

「おいしさ」と「新鮮」をネットワークする。

ニチレイは、品質へのあくなきこだわりと、培われた技術、新しいアイデア、グループトータルのネットワークによって、新鮮で、健康なおいしさをお届けし、笑顔のあふれる食卓を創り出していきます。

株主の皆様へ

経営環境の大きな変化に対応、持続的成長へ!

代表取締役会長 村井利彰　代表取締役社長 大石邦夫

第100期中間グループ報告書をお届けするにあたり、日頃のご支援に心から厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、好調な企業業績や堅調な雇用環境のもと緩やかな回復基調が続きました。海外においては、国際情勢に不安定さが増す一方で、先進国を中心に経済は総じて堅調に推移しました。

食品業界では、消費者の低価格志向が強まる一方で、食のニーズが益々多様化し簡便調理品や健康訴求品の市場が拡大しています。また、食品物流業界では、人件費や輸配送コストの上昇が続くなか、電力料も高止まりし厳しい環境が続いています。

このような状況のなか、ニチレイグループは、2年目となった中期経営計画「POWER UP 2018」を推進するため、主力事業の更なる強化による持続的な利益成長と資本効率向上を目指した施策に取り組みました。おかげさまをもちまして、グループ全体の売上高は、加工食品事業の伸長などにより増収となりました。また、営業利益面では、低温物流事業が堅調に推移したことなどから、増益となりました。

現在、食品関連業界においては、労働環境、技術的進化、資源状況など、従来の延長線上には無い、非常に大きな経営環境の変化が起こっています。私たちはミッションにのっとり、真剣なまなざしで人々の「くらしを見つめ」るとともに、こうした変化に機敏に対応していかなければならないと考えます。お客様第一・安全第一・品質第一の基本姿勢を徹底し、持続的成長に向け、新たな領域にも挑戦してまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2017年12月吉日

第2四半期 連結財務ハイライト

第2四半期決算ハイライト

売上高

加工食品事業の伸長などにより2,827億99百万円(前年同期比4.7%の増収)となりました。

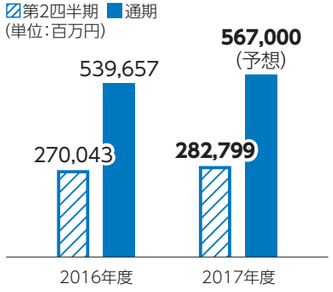
営業利益・経常利益

低温物流事業が堅調に推移したことなどから、営業利益は162億54百万円(前年同期比1.2%の増益)、経常利益は164億34百万円(前年同期比3.3%の増益)となりました。

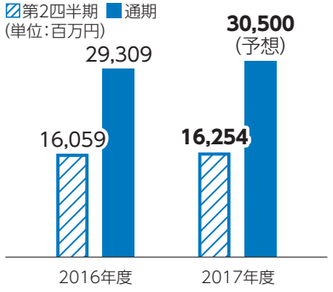
親会社株主に帰属する四半期純利益

特別利益は57百万円となる一方、特別損失は6億86百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は101億79百万円(前年同期比4.0%の減益)となりました。

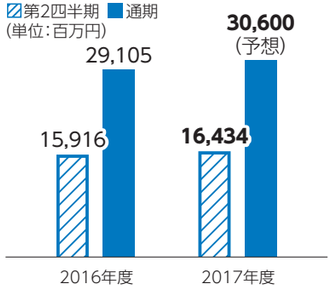
売上高 282,799百万円



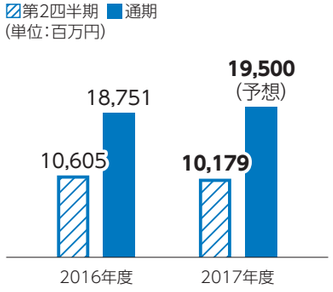
営業利益 16,254百万円



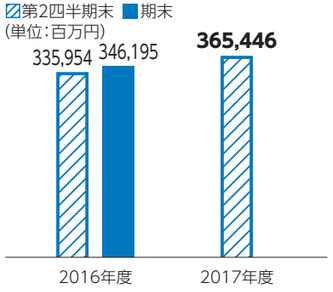
経常利益 16,434百万円



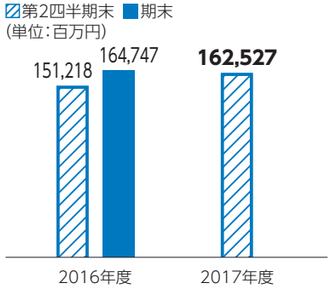
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 10,179百万円



総資産 365,446百万円



純資産 162,527百万円



第2四半期 連結財務諸表

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

連結貸借対照表(要旨)

2017年9月30日現在

(単位:百万円)

区　分	金　額
流動資産	161,548
固定資産	203,898
資産合計	365,446
流動負債	120,391
固定負債	82,527
負債合計	202,918
株主資本	140,064
その他の包括利益累計額	15,860
非支配株主持分	6,602
純資産合計	162,527
負債純資産合計	365,446
設備投資等の金額※	7,966
有利子負債 (リース債務除く)	106,391 (88,224)
1株当たり純資産額	1,169円96銭

※設備投資等の金額は、有形固定資産および無形固定資産に係る投資額の合計金額です。

連結損益計算書(要旨)

2017年4月1日から2017年9月30日まで

(単位:百万円)

区　分	金　額
売上高	282,799
営業利益	16,254
経常利益	16,434
税金等調整前四半期純利益	15,805
四半期純利益	11,054
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,179
減価償却費	7,824
研究開発費	929
1株当たり四半期純利益	75円33銭

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

2017年4月1日から2017年9月30日まで

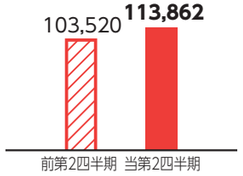
(単位:百万円)

区　分	金　額
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,664
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,710
財務活動によるキャッシュ・フロー	△692
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,950

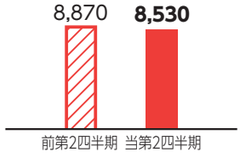
加工食品事業

■チキン加工品や米飯類などの主力カテゴリーを中心とした商品開発や販売活動に注力しました。この結果、家庭用・業務用ともに販売が拡大したことに加え、海外子会社の売上げも貢献し、全体では増収となりました。営業利益は増収効果や生産効率向上もありましたが、原材料・仕入コストの上昇に加え、広告宣伝費の増加などにより減益となりました。

売上高
113,862百万円
(単位:百万円)



営業利益
8,530百万円
(単位:百万円)



ニチレイフーズ

有名シェフ監修による業務用商品「Chef's spécialité」(シェフズスペシャリテ)

「Chef's spécialité」は、監修いただいたシェフが長年培ってきた独自の技と当社がもつ調理加工技術との組み合わせで誕生した業務用商品です。

「日常以上、ハレ未満」のコンセプトのもと、近年注力してきた高付加価値型商品から少し切り口を変えた「手の届くちょっとした贅沢を提供する」商品として、2016年11月に業務用冷凍食品として発売。加工食品ならではの簡便調理と本格的なおいしさで、主に事業所給食のイベント食として、また惣菜売場でもお弁当を中心に、大変ご好評をいただいております。

2017年11月には業務用常温食品2品も発売いたしました。

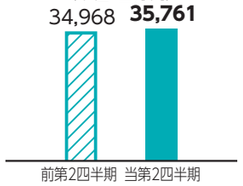
【東京・日本橋】たいめいけん

【神戸・新開地】グリル一平

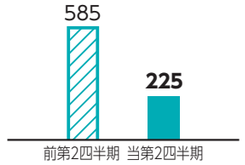
水産事業

■外食・中食向け商材の販売拡大に努めたことや、「たこ」「魚卵」の取扱いが伸長したことなどにより増収となりましたが、円安の影響で「えび」の調達コストが増加したことなどから減益となりました。

売上高
35,761百万円
(単位:百万円)



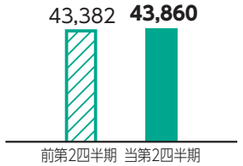
営業利益
225百万円
(単位:百万円)



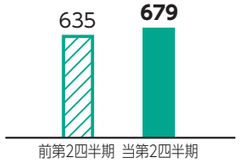
畜産事業

■市況や需要の変動に対応した慎重な買付や販売を進めたことなどにより売上げは前年同期並みとなりましたが、輸入牛肉の採算が改善したことなどにより増益となりました。

売上高
43,860百万円
(単位:百万円)



営業利益
679百万円
(単位:百万円)



ニチレイフレッシュ

インドネシア初のASC認証

2017年8月18日、ニチレイフレッシュが取り扱っているインドネシア産ブラックタイガー(エビ)がインドネシア初のASC(水産養殖管理協議会)認証を取得しました。ASC認証は、自然環境、労働環境や地域社会に配慮した養殖業だけが取得できる国際的な認証制度です。

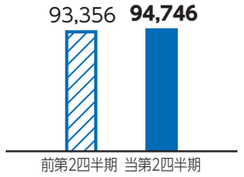
ニチレイフレッシュは、WWFジャパン、WWFインドネシア、現地パートナー企業のMMA社とともに「北カリマンタン　海と森の保全プロジェクト」を推進し、ASC認証取得を目指しブラックタイガー(エビ)の養殖業改善プロジェクトに取り組んできました。

© WWF-Indonesia/M. BUDI Santosa

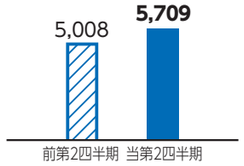
低温物流事業

■大都市圏を中心とした集荷拡大や地方エリアにおける保管・運送・流通加工機能などの総合的な物流サービスの提供に注力しました。また、業務改善および運送効率化などのコスト対応策を推進したことに加え、TC（通過型センター）事業が堅調に推移したことで増収・増益となりました。

売上高
94,746百万円
（単位：百万円）



営業利益
5,709百万円
（単位：百万円）



ニチレイロジグループ

トラックの長時間待機問題を改善

ニチレイロジグループでは、トラック待機問題の改善を図るため、「トラック事前予約システム」の運用を開始しました。

トラック待機問題とは、物流センターにおいてスムーズな荷下ろしや積み込みができないためドライバーが長時間待機せざるを得なくなっている問題であり、社会的な関心も高くなっています。

原因の一つとして、物流センターに到着した順番で入出庫の対応を行っていることが挙げられます。

「トラック事前予約システム」は、物流センターごとに設定された時間帯別の入出庫可能枠に対して、トラック側（荷主や運送会社）が入出庫の希望時間を予約できるものです。

このシステムを利用することで順番確保のための待機が不要となるだけでなく、トラック側から積荷明細（運送依頼書や送り状）を物流センターに事前送付することで、これまでトラック到着後に行っていた運送会社の照合、オーダーの照合を事前に実施することができ、物流センターでの作業効率化にもつながります。

ニチレイロジグループは、社会的課題の解決と物流作業の効率化を可能にする本システムを各物流センターに順次拡大していく予定です。

当社グループ全体の予想

（単位：百万円）

		通期		
		予想	対前期比較	
			増減額	増減率（%）
売上高	加工食品	222,300	17,274	8.4
	水産	73,000	3,623	5.2
	畜産	89,000	871	1.0
	低温物流	192,500	5,615	3.0
	不動産	4,800	163	3.5
	その他	5,200	714	15.9
	調整額	△19,800	△919	–
	合計	567,000	27,342	5.1
営業利益	加工食品	14,700	827	6.0
	水産	700	△94	△11.8
	畜産	1,400	△210	△13.1
	低温物流	11,500	867	8.2
	不動産	2,100	△24	△1.2
	その他	700	94	15.6
	調整額	△600	△269	–
	合計	30,500	1,190	4.1
経常利益		30,600	1,494	5.1
親会社株主に帰属する当期純利益		19,500	748	4.0

※年間の為替レートは、1米ドル116円、1ユーロ125円を想定しております。

セグメント別の予想

加工食品事業

■家庭用調理品において引き続き主力のチキン加工品や米飯類などの販売に注力することや、業務用調理品では中食ルート向けにチキン加工品などの主力商品の拡販に努めることなどにより、増収を見込んでおります。営業利益は、原材料等のコストの上昇が継続するものの、増収効果や生産効率の向上などにより増益を見込んでおります。

水産・畜産事業

■水産事業は、調達コストの上昇に対する販売価格への転嫁を進めるとともに、需要が高まる第3四半期での主力商材の販売徹底により、利益確保に努めます。

■畜産事業は、チキンの利益率向上に取り組むとともに、中食ルート向けを中心に加工品の拡販に努め、安定利益を確保します。

低温物流事業

■TC（通過型センター）事業の伸長や保管貨物の集荷拡大などにより増収を見込んでおります。営業利益は、電力料、荷役作業および輸配送のコストの上昇を、業務効率化の推進や適正料金の収受などの施策により吸収することで、増益を見込んでおります。

ニチレイニュース

2017年4月～9月の当社活動の中から
主なものをご紹介します。

ニチレイフーズ　家庭用冷凍食品「特から」売上好調！

食卓の主役になれる唐揚げ商品として、大袋唐揚げの新しいスタンダードを提案した「特から」。
2017年3月の発売以来、大変ご好評をいただいています。

特からとは？

しょうゆをイメージした紫のパッケージは
売り場でも目立つ存在に！

特長 その1　香り高い**秘伝のしょうゆダレ**に漬け込み、**二度揚げ**で味わい深くジューシーに仕上げた**大きめサイズ**の若鶏の唐揚げです。

特長 その2　手作りに近い**ゴツゴツとした見栄え**と、揚げたて品質を追究した**「じゅわ旨っ。製法」**で、鶏肉のジューシーなおいしさをお楽しみいただけます。

特長 その3　**1袋415g**とボリュームパックタイプ。家族みんなで食べられる**大満足の容量**です。

プロモーションにも注力！

テレビCMでは、今注目の実力派俳優である鈴木亮平さんを起用。超熱血な“特から先生”を演じ、「特から」ならではのおいしさを伝えていただいています。
発売と同時にCMを大量放映し、商品プロモーションも実施。初回配荷率も8割を超え、露出度を高めました。これらのプロモーションにより認知度も高まり、リピート購入にもつながっています。

ニチレイロジグループ　海外からの見学、研修受け入れに協力

ニチレイロジグループでは、物流センターにおいて、JICA（国際協力機構）等が推進している海外からの見学、研修生の受け入れに協力しています。
低温物流が私たちの食生活に不可欠であることや食の安全・安心を守り続けていることなどの理解を深めていただくことを目的とし、これらの活動を通じて、ニチレイロジグループの物流ノウハウが海外の物流ネットワークの改善、構築にも大きく役立っています。

■ JICA省エネルギーセンター依頼による冷蔵倉庫見学会

2017年6月27日、ニチレイロジグループの東扇島物流センターにて、JICA省エネルギーセンターの依頼により、研修生16名を対象とした冷蔵倉庫見学会を実施。この研修は【平成29年度JICA（課題別研修）「エネルギーの高効率利用と省エネの推進（D）に係る研修」】によるものです。

■ JICA北海道国際センター依頼による冷蔵倉庫見学会

2017年7月24日、十勝物流センターにて、JICA北海道国際センターの依頼により、研修生11名を対象とした冷蔵倉庫見学会を実施。この研修は「キルギス：農産品流通研修」によるものです。

■ JICA沖縄 地域開発研究所依頼による冷蔵倉庫見学会

2017年7月25日、東扇島物流センターにてJICA沖縄 地域開発研究所の依頼により、研修生12名を対象とした冷蔵倉庫見学会を実施。この研修は2017年度研修業務（アジア地域における物流システムの発展Ⅱ）によるものです。

FOCUS

「おいしさ」を測る分析機器、“MS Nose™”とニチレイの挑戦

（エムエス ノーズ）

ニチレイは、食品企業として「おいしさ」を測る研究にも取り組んできました。
その研究の中で出会ったのが、分析機器“MS Nose”。
「おいしさ」とは何か？人はどのように「味」を感じるのか。
“MS Nose”でどのようにおいしさを測るのかということについてご紹介します。

おいしさって何だろう？

「おいしさ」は舌で感じるもの、と思っていませんか？しかし実は、舌で感じる味覚は、おいしさの要素の一部に過ぎません。

私たちが通常「味」と表現しているのは、舌で感じる味覚（味）だけでなく、嗅覚（香り）、触覚（食感、温度）、視覚（見た目）、聴覚（音）が統合された感覚。これらの中でも、「香り」が果たしている役割が非常に重要なことが、近年の研究でわかってきました。

香りの重要性を知ろう！

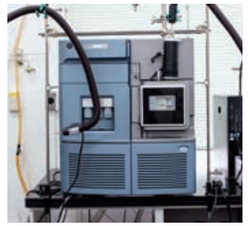
食品を食べるときに感じる香りには、「鼻から直接嗅ぐ香り」「口に入れて飲み込むときに喉から鼻に抜ける香り」の2種類があります。

食品のおいしさの重要な要素となるのは、主に「口に入れて飲み込むときに喉から鼻に抜ける香り」で、レトロネーザルアロマと呼ばれています。

レトロネーザルアロマは、舌で味を感じるのとほぼ同時に、鼻腔の嗅細胞で感じます。そのため、味覚と一体の感覚となって「味わい」として知覚されています。

私たちが「味わい」と感じているものには、このレトロネーザルアロマの占める割合がかなり大きく、例えば、風邪を引いたときに、食べ物の味がわかりづらくなると錯覚するのも、そのせいです。

MS Noseとは？

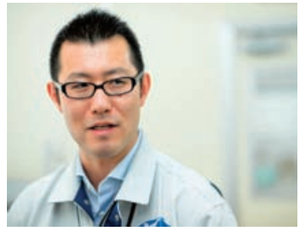


レトロネーザルアロマは、食品がかみ砕かれて唾液と混ざり、口の中で揮発して喉から鼻に抜けていくときに感じるもので、刻々と変化していきます。この変化する香りの成分を捕まえて、リアルタイムで測定することができるのが、“MS Nose”です。

“MS Nose”という名前は、質量分析法（Mass Spectrometry）※を使って、鼻（Nose）のように呼気中の香気成分を分析する機器であるところに由来しています。呼気中のごく微量な成分も、高感度で短時間に分析可能という特長があります。

※物質を構成する分子をイオン化して、分子量を測定する方法。きわめて少量の試料で、幅広い物質を分析可能。

MS Noseによる分析でわかること



㈱ニチレイ/品質保証部
マネジャー　畠山　潤

“MS Nose”によるレトロネーザルアロマの分析で、今までは「味わい」とひとくくりにされていた「舌で感じる味」と「香り/レトロネーザルアロマ」の要素を分離することが可能になります。それによって、食品の「おいしさ」に何が大きく影響しているのかを探る手がかりが見つけやすくなります。また、実際に食べたときの香り立ちを定量化できるようになるため、「食べると何かちょっと違うんだけど、何がどう違うのかわからない」というときの原因を見つけたり、香料やスパイスなどをどれだけの量配合すると望む香り立ちになるのかを、効率良くつきとめるときなどにも役立ちます。

受託分析を本格スタート

これまで約10年にわたり、ニチレイは加工食品の品質設計へ活用することを目指し、イギリスにあるFLAVOMETRIX社の協力を得て“MS Nose”による測定技術について研究してきました。より多くの人においしさや食の楽しさをお届けできる商品開発のベースとなる「おいしさの見える化」を目指すため、受託分析・研究も本格的にスタート。レトロネーザルアロマの分析実績を増やし、より良い商品作りに貢献していきます。

*MS Noseは、株式会社ニチレイの商標です。

会社概要（2017年9月30日現在）

社　名	株式会社ニチレイ
所在地	〒104-8402 東京都中央区築地六丁目19番20号 ニチレイ東銀座ビル
設　立	1942年12月※
役　員	代表取締役会長　村井利彰
	代表取締役社長　大谷邦夫
	取締役執行役員　松田浩
	取締役執行役員　田口巧
	取締役執行役員　金子義史
	取締役執行役員　大櫛顕也
	取締役執行役員　川﨑順司
	社外取締役　谷口真美
	社外取締役　鵜澤静
	社外取締役　鰐渕美恵子
	常勤監査役　海津和敏
	常勤監査役　滋野泰也
	社外監査役　齊田國太郎
	社外監査役　岡島正明
	社外監査役　長野和郎
	執行役員　宇田川辰雄
	執行役員　三木一德
	執行役員　武永正人
	執行役員　狩野豊
会計監査人	新日本有限責任監査法人 東京都千代田区内幸町二丁目2番3号 日比谷国際ビル

※前身の帝国水産統制株式会社の設立年月
1945年12月 日本冷蔵株式会社に改組

株式の状況（2017年9月30日現在）

発行可能株式総数 …… 360,000,000株

発行済株式総数 …… 139,925,532株
（うち自己株式 6,651,243株）

単元株式数 …… 100株

株主数 …… 20,548名

■大株主

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	14,187	10.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	10,096	7.6
日本生命保険相互会社	5,744	4.3
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,866	3.7
株式会社みずほ銀行	3,813	2.9
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	2,799	2.1
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	2,765	2.1
株式会社日清製粉グループ本社	2,719	2.0
農林中央金庫	2,675	2.0
GOVERNMENT OF NORWAY	2,609	2.0

（注）1.持株数は、千株未満を切り捨てて表示しています。
2.持株比率は、自己株式（6,651千株）を控除して計算しております。
小数点第二位で四捨五入して表示しております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌3月31日まで
定時株主総会	6月
株主確定日	定時株主総会・期末配当金　3月31日 中間配当金　9月30日
上場証券取引所	東京（第一部）
証券コード	2871
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号　みずほ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告により行います。公告掲載場所は当社ホームページhttp://www.nichirei.co.jp/とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に公告を掲載します。

上場株式等の配当等に係る税金についてのご案内

2013年12月31日をもって上場株式等の配当等に係る軽減税率が廃止されており、今回の第100期中間配当金の税率は本則税率となります。また、2037年12月31日までは、復興特別所得税として基準所得税額に対して2.1%を乗じた金額が課税されます。具体的な税率は下表をご参照ください。

■上場株式等の配当等に係る税金と税率

	2037年12月まで	2038年1月以降
所得税	15.315%	15%
復興特別所得税		–
住民税	5%	5%
合計	20.315%	20%

※上記税率は源泉徴収が行われる場合の税率です。なお、内国法人の場合は住民税が徴収されません。
※発行済株式の総数等の3%以上に相当する数または金額の株式等を有する個人の大口株主様につきましては、別の税率となりますのでご注意ください。
※詳細につきましては、所轄の税務署にお問合せください。

株主・投資家、個人投資家向け情報サイト

最新IRニュース、最新の決算発表情報をご覧いただくことができます。また、個人投資家向け情報サイトでは、個人投資家説明会時の決算資料をはじめ、ニチレイグループのことをわかりやすく紹介しています。

●ニチレイメーリングサービス
ニチレイWebサイトの更新情報や新商品の情報を、電子メールでも受け取ることが可能です。登録は無料ですので、どうぞご利用ください。

http://www.nichirei.co.jp/ir/

個人投資家向け情報サイトへは、こちらからアクセス可能です。